

### 関東学院大学×総合的な探究の時間



## 「みなたんぐらんぷりファイナル」開催

関東学院大学のご協力を得て活動してきた総合的な探究の時間「みなたん」の最終発表会が2月6日に行われました。「SDGs QUESTみらい甲子園」にエントリーするなど、それぞれの生徒が社会課題を見つけ、自分たちなりの解決策を探究してきました。今年度は関東学院大学のキャンパスに2度訪問し、9名の先生方や学生の皆さんにアドバイスをいただきながら、例年よりもさらに踏み込んだ実現可能性が高い探究に取り組むことができました。

10月に小山学長より「自ら問いを立て、他者と協力しながら行動に移せる人材になってほしい」という激励をいただき始まった活動ですが、最終発表会では、木村乃先生より「小さなことでもできないと諦めないでやってみることが大切」というお話を伺いました。生徒たちにとって今回の活動が何事に対しても諦めずに自分で切り拓く姿勢を身に付けるきっかけになりました。



関東学院大学の先生や教職員、生徒による投票で最優秀賞1組、優秀賞2組、学長賞2組が選ばれました。

### ファイナルテーマ一覧

最優秀賞

チョークの粉で世界を救う

リサイクル可能な素材の表面改質

影響力を使った宣伝  
～広げよう！フェアの輪～

画像認識AIの検証と応用

サステナブルな食事が生む幸福感  
アッププロジェクト

映画から学ぶ平和と公正

心もおなかまんぷくぼうや

スクール☆革命(人口減少社会における地域創生を考える)

災害時におけるSNSの活用  
～エネルギーを無駄にしない～





←2回にわたり関東学院大学のキャンパスで大学の先生や学生の方に探究のアドバイスをいただきました。



←↑すべてのグループが発表を行いました。1グループ4～7名程度でクラスを超えて研究テーマに合わせて活動しました。



→表彰式の様子。プレゼンターは木村乃先生。先生には最終発表会で講評をいただきました。たくさんの副賞と温かいアドバイスをありがとうございました。



最優秀賞のテーマは学校で日々でているチョークの粉の再利用ですが、実際に試作をし、授業で使ってみた点が評価されました。優秀賞に選ばれたフェアトレード商品に関するテーマでも、実際に学校近くのスターバックスにフェアトレードに関する自作のPOPを置かせてもらうなど、自分たちで「ACTION」を起こすことまでできた点が21期生のすごいところです。

**2. 「SDGsアクション」アイデアと「目標」**

**チョークの粉を再利用したチョーク作り**

**【作り方】**

- ①粉から不純物を取り除く
- ②粉に水を少しずつ加えて粘土ほどの硬さになるまで混ぜる
- ③好きな形に整える
- ④数日間乾燥させる

**【改善点】**

- ・不純物を取り除く方法として網 やふるいを使用する
- ・手で形を整えようとすると横わないので型で形をとる

12月12日 持続可能な方法で生産し責任を持って消費する

**3. 「SDGsアクション」を広める方法**

リサイクルチョークを広めるために、まずはみじかな先生たちに使っていただきました。先生たちが授業の際にこのチョークの説明をしながら使っていただくことでたくさんの生徒に知ってもらうことができました。また私たち自身も簡単にチョークについて説明を行いました。

しかし、この方法では校内のみにしか広めることができません。この取り組みを広げるために私たちは他の学校に移動する先生たちにこのチョークを使ってもらうことを考えました。